

令和2年7月 前線における一庫ダムの洪水調節効果

- 活発な梅雨前線の影響により、7月5日22時から8日7時にかけて流域平均の総雨量が159.1mm、時間最大雨量が49.3mm(8日5時)となり、一庫ダムへの流入量は約289m³/sを記録。
- 一庫ダムでは、7月7日9時20分より事前放流を開始し、貯水位を標高134.50mに低下させ約68万m³の洪水を貯留。
- ダム下流の猪名川の水位を多田院地点(川西市多田院地先)で約0.64m低減させる効果があったと推定。

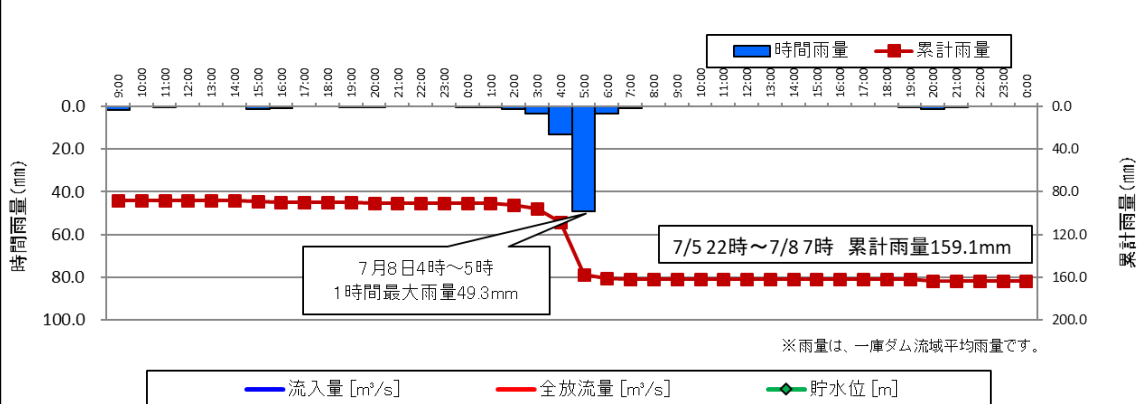
一庫ダムと多田院地点の位置図



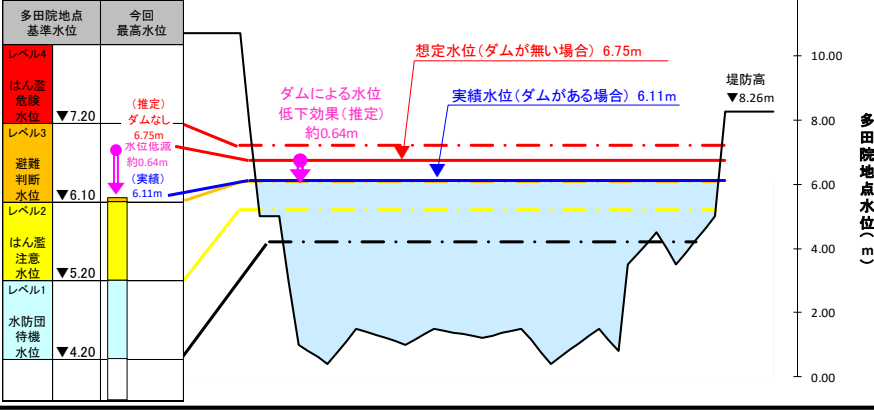
ダム貯留状況写真



一庫ダムの防災操作図



多田院地点における水位低減効果



※数値等は速報値ですので、今後の精査等により変更する場合があります。